

No.2039 PPS テスター (プリントサーフ試験機)

紙の印刷適性にとって最も重要な特性の1つとしての平滑性は、従来よりベック、王研式、シェフィールド、ベントセン、ガーレー SPS 等、空気漏洩法又は空気の内部圧力変化により測定しています。しかしこれらの物性値で用紙の印刷適性を評価するには、難しいところもありました。1965 年英国の John Parker M.A. によって開発された Parker Print-Surf (P.P.S.) は、特にグラビア印刷に於ける用紙適性の知見を得る手法として多くの研究者により評価され、1985 年英国の BS 規格となり、更に 1992 年 ISO 規格にも採用されています。その原理は極薄の測定リングを一定圧で試料面に押し付け、リングの内側より安定した低圧空気を送ります。空気は測定リングと紙が接触している、その端面から外に流れます。この紙表面の粗さに応じて変化する空気流量を測定して紙の表面粗さとして換算し、 μm 単位で表示します。

測定項目	平滑性、圧縮性
測定範囲	平滑度 0.6 ~ 6.0 μm
測定時間	平滑度 標準 4 秒 (3 ~ 60 秒設定可能)
測定リング巾	51 μm
測定リング中心径	31.2mm
エアギャップ巾	51 μm
測定空気圧	平滑度 19.6kPa
クランプ圧	490,980,1960kPa (5,10,20 kgf/cm^2)
バックング	ソフト及びハード
計算項目	最大、最小、平均、標準偏差、変異係数、比圧縮
データ出力	RS-232C 方式
参考規格	JIS P-8151, TAPPI 555om-99, ISO 8791-4:1992, BS 6563:1985
電源	100/110V 50/60Hz 2A
エア源	0.5MPa
外形寸法	340×430×460mm
重量	33kg



操作部